

アズマネザサ (東根笹)

名前の意味：関東地方に生える根笹の意味。根笹は、丈の低い笹の意味。

分類：単子葉類、イネ科、メダケ属

(イネ科の栽培植物：イネ、コムギ、トウモロコシ)

好きな場所：日当たりのよい空き地、林の縁

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：昔から日本に生えていた (自生)

特徴：竹のような先のとがった楕円形の葉、竹の枝のような丈夫な茎 (なかなかちぎれない)、茎にある白っぽいさや。

種子の運ばれかた：そのまま落ちる

花弁の数：肉眼ではよくわからない。

花の時期：5 - 6月 (花は咲かないことが多い)

食べ方：食べられない

見分け方：タケのなかまとは茎が細いことと、茎のさやが残ることで区別できる。ササのなかまより、葉が小さくて細い。メダケのなかまは多くて、見分けるのが難しいが、アズマネザサが一番普通に見られる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★★★

総合難易度 ★★★

(★が多いほど量が少なく、見分けにくく、難易度が高い)